

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成23年11月1日から平成24年1月31日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成23年11月1日から平成24年1月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	63,894	67,744
売掛金	8,295	10,079
営業未収入金	4,606	2,865
有価証券	1,750	1,338
旅行前払金	15,536	15,906
前払費用	1,142	1,153
繰延税金資産	2,050	2,073
短期貸付金	32	33
関係会社短期貸付金	1,460	2,084
未収入金	1,647	1,338
その他	2,424	2,462
貸倒引当金	△31	△35
流動資産合計	102,810	107,045
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,359	6,269
工具、器具及び備品（純額）	1,196	1,368
船舶（純額）	2,274	2,464
土地	2,019	1,982
その他（純額）	532	667
有形固定資産合計	12,383	12,751
無形固定資産	2,937	3,051
投資その他の資産		
投資有価証券	9,849	6,991
関係会社株式	4,505	4,226
関係会社出資金	85	85
長期貸付金	960	918
関係会社長期貸付金	816	750
繰延税金資産	58	58
差入保証金	4,418	4,523
その他	313	292
貸倒引当金	△151	△150
投資その他の資産合計	20,855	17,696
固定資産合計	36,176	33,499
繰延資産	31	52
資産合計	139,018	140,596

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年1月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	16,455	17,685
未払金	1,839	1,939
未払費用	1,817	1,783
未払法人税等	3,985	970
未払消費税等	258	247
旅行前受金	34,740	40,472
賞与引当金	2,968	1,508
役員賞与引当金	159	61
その他	3,285	4,161
流動負債合計	65,509	68,829
固定負債		
繰延税金負債	1,788	433
退職給付引当金	3,689	3,785
役員退職慰労引当金	418	433
修繕引当金	1,471	1,470
その他	550	558
固定負債合計	7,918	6,681
負債合計	73,428	75,511
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,882	6,882
資本剰余金	7,782	7,782
利益剰余金	47,658	48,558
自己株式	△2,522	△2,522
株主資本合計	59,801	60,700
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,364	2,957
繰延ヘッジ損益	△6	△29
為替換算調整勘定	△1,175	△1,534
その他の包括利益累計額合計	3,182	1,393
少数株主持分	2,605	2,992
純資産合計	65,589	65,085
負債純資産合計	139,018	140,596

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年11月1日 至 平成23年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年11月1日 至 平成24年1月31日)
売上高	84,980	94,594
売上原価	68,104	76,674
売上総利益	16,875	17,920
販売費及び一般管理費	14,990	15,415
営業利益	1,884	2,504
営業外収益		
受取利息	88	131
為替差益	121	86
持分法による投資利益	123	270
補助金収入	221	219
その他	51	60
営業外収益合計	605	768
営業外費用		
支払利息	5	—
株式交付費	—	8
その他	9	13
営業外費用合計	14	21
経常利益	2,475	3,251
特別利益		
投資有価証券売却益	3,181	—
貸倒引当金戻入額	9	—
負ののれん発生益	—	46
その他	6	1
特別利益合計	3,197	48
特別損失		
固定資産除却損	37	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	361	—
その他	82	4
特別損失合計	481	4
税金等調整前四半期純利益	5,191	3,294
法人税等	1,593	752
少数株主損益調整前四半期純利益	3,597	2,542
少数株主利益	241	425
四半期純利益	3,356	2,117

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年11月1日 至 平成23年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年11月1日 至 平成24年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,597	2,542
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	493	△1,407
繰延ヘッジ損益	59	△23
為替換算調整勘定	△273	△382
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△2
その他の包括利益合計	279	△1,816
四半期包括利益	3,876	726
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,619	327
少数株主に係る四半期包括利益	257	398

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年11月1日 至 平成24年1月31日)
税金費用の計算	税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

【追加情報】

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年11月1日 至 平成24年1月31日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)	当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

保証債務

連結会社以外の会社の銀行保証に対し、下記限度額の債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成23年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年1月31日)
株式会社エージーティ	500千米ドル (38百万円)	—————
計	38百万円	—————

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年1月31日)
減価償却費	410百万円	509百万円
のれんの償却額	37	36

(株主資本等関係)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年11月1日 至平成23年1月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年1月27日 定時株主総会	普通株式	778	24.00	平成22年10月31日	平成23年1月28日	利益剰余金

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年11月1日 至平成24年1月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年1月26日 定時株主総会	普通株式	1,037	32.00	平成23年10月31日	平成24年1月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年11月1日至平成23年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	旅行事業	ホテル事業	テーマパーク 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	81,150	555	3,266	84,973	6	84,980	—	84,980
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	17	40	63	—	63	△63	—
計	81,155	573	3,307	85,036	6	85,043	△63	84,980
セグメント利益	1,870	26	353	2,250	6	2,257	△372	1,884

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業であります。

2. セグメント利益の調整額△372百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その内容は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の本社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

重要な負ののれん発生益はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成23年11月1日 至 平成24年1月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	旅行事業	ホテル事業	テーマ パーク事業	運輸事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	90,000	650	3,913	23	94,587	6	94,594	—	94,594
セグメント間の内部 売上高又は振替高	37	19	74	—	131	—	131	△131	—
計	90,037	670	3,987	23	94,719	6	94,726	△131	94,594
セグメント利益 又は損失(△)	2,163	△3	819	△71	2,908	6	2,914	△410	2,504

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△410百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その内容は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の本社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

重要な負ののれん発生益はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間から、「その他」の区分に含まれておりました「運輸事業」が事業を開始したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間における「その他」の区分には、運輸事業は含まれておりません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年11月1日 至 平成23年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年11月1日 至 平成24年1月31日)
1 株当たり四半期純利益金額	103円51銭	65円29銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (百万円)	3,356	2,117
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額 (百万円)	3,356	2,117
普通株式の期中平均株式数 (千株)	32,427	32,427

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。